

三ツ沢公園球技場を含めた公園の再整備の検討状況と再整備に向けた基本的な考え方(案)について

温暖化対策・環境創造・資源循環委員会
令和4年6月1日
環境創造局説明資料

三ツ沢公園球技場(ニッパツ三ツ沢球技場)は、プロやアマチュアによるサッカーやラグビーの試合が数多く開催され、多くの市民の皆様に親しまれています。

一方、現在の球技場は建設から58年が経過して老朽化が進むとともに、観客席に屋根が無く、Jリーグのスタジアム基準を満たしていないなどの課題があることから、球技場の改修やこれに伴う公園の再整備に向けた検討を進めてきました。

今回、三ツ沢公園球技場を含めた公園の再整備の検討状況と、再整備に向けた基本的な考え方(案)についてご報告します。

1 三ツ沢公園球技場(ニッパツ三ツ沢球技場)の現状



- ・市民利用に加え6つのスポーツチームが使用しており、国内の球技場の中でも年間を通して突出した稼働状況となっています。そのため、新たな利用ニーズにも十分な対応ができていません。
- ・老朽化が進み、バリアフリー化も不十分であることに加え、観客席への屋根かけ等、Jリーグのスタジアム基準を満たしていない状況です。

【参考1】三ツ沢公園の種別等
[種別] 運動公園 [所在地] 神奈川県三ツ沢西町3-1 [公園面積] 約28ha

【参考2】主な公園施設

A	三ツ沢公園球技場(ニッパツ三ツ沢球技場)
B	陸上競技場
C	補助陸上競技場
D	テニスコート
E	自由広場
F	青少年野外活動センター
G	公園管理センター
H	馬術練習場

【参考3】三ツ沢公園の沿革

1949(昭和24)年	公園開設・第4回国民体育大会会場
1955(昭和30)年	第10回国民体育大会を開催
1964(昭和39)年	東京オリンピックのサッカー競技を開催
1981(昭和56)年	全国高等学校総合体育大会を開催
1993(平成5)年	Jリーグを開催

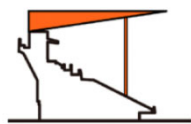
【参考4】本球技場を利用するスポーツチーム

Jリーグ	横浜F・マリノス/横浜FC/Y.S.C.C
なでしこリーグ	日体大SMG 横浜/ニッパツ横浜FCシーガルズ
ラグビーリーグワン	横浜キャノンイーグルス

2 三ツ沢公園球技場(ニッパツ三ツ沢球技場)のこれまでの検討の流れ

(1) 既存のメインスタンドへの屋根かけ

① 本体に屋根のみをかける方法



・既存のメインスタンドは築58年の建築物であり、現在の法令に則り屋根をかけることは構造的に耐えられないため不可となります。

② 別構造で屋根をかける方法



・既存のメインスタンドと別構造であっても機能的に一体性を有するため、現行法令に適合していない箇所への対応など大規模な改修が必要となりますが、本体の老朽化が進んでいる中で、近い将来に建て替えが必要となるため、非効率な方法となります。

(2) メインスタンドの建て替え(現位置での建て替え)

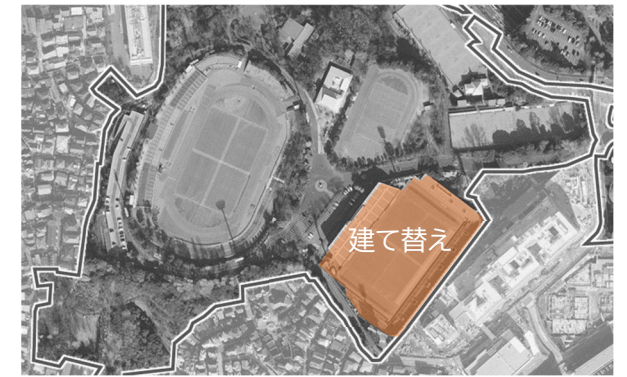
- ・メインスタンドを建て替える場合、Jリーグのスタジアム基準に基づき全ての観客席*への屋根かけが必要となります。

*メインスタンド、サイドスタンド2面、バックスタンドの計4面

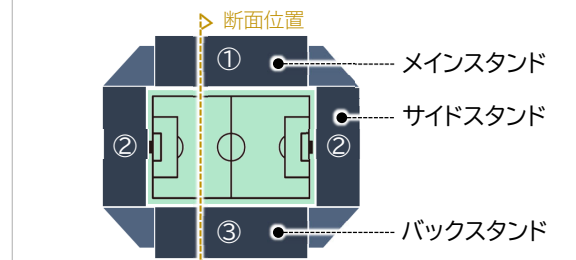
- ・全ての観客席に屋根をかける形式で建て替える場合、芝生の維持・生育のため、日照時間の確保や養生期間(休業日)の設定が必要となり、稼働日数が大幅に限定されます。

本案の場合、

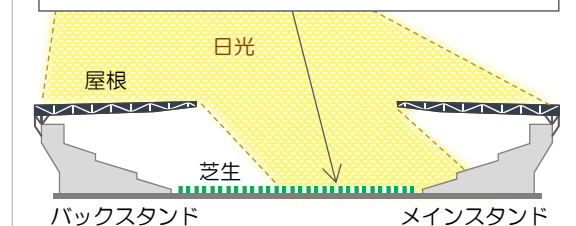
- ・学生や社会人などの市民の利用枠やスポーツチームに必要な利用枠が確保できなくなります。
- ・球技場の新たな利用ニーズへの対応も難しく、現位置での建て替えは現実的ではありません。



【参考5】屋根付きの球技場のイメージ



芝生の維持・生育のため、日照時間の確保や養生期間(休業日)の設定が必要となり、稼働日数が大幅に限定されます。



(3) 検討結果

市民利用、プロスポーツの双方の利用枠を確保するため、既存の球技場を活かしながら、新たな球技場を整備することが必要。

ア) 既存の球技場の活用と公園内での新たな球技場の建設

- 既存の球技場を活かした市民利用枠の拡大
- 将来を担う子どもたちをはじめ、市民が本格的なスタジアムでプレーできる環境の整備・充実
- 横浜を本拠地としているスポーツチームが一層活躍できる環境の整備・充実
- 魅力ある最新のスタジアムで市民が身近にトップスポーツを観戦できる環境の整備・充実
- 増加する新たな利用ニーズへの対応



イ) 新たな球技場の建設に伴い、これまで以上に魅力ある公園へと再整備

3 三ツ沢公園の再整備に向けた基本的な考え方(案)

(1) 三ツ沢公園に期待される役割

① 運動公園としての魅力の向上

- ・スポーツを通じた、心身の健全な育成や体力の向上、健康維持・増進、精神的な充足感の獲得、仲間づくりや地域コミュニティの活性化など、市民の心豊かな生活の実現に向けて、プロやアマチュアのスポーツの場を充実させていくこと。
- ・スポーツイベント等の開催による交流人口の増加や、スポーツ施設を中核とした市民活動の活性化など、スポーツを通じて運動公園としての魅力を高めるとともに、地域の魅力を向上させていくこと。

② 歴史や親しみのある公園環境の継承

- ・オリンピックや国体など様々な大会を開催してきた歴史のある三ツ沢公園を、本市のスポーツシーンを象徴する財産(レガシー)として次世代にも着実に継承していくこと。
- ・多くの花や緑とふれあいながら、地域の方々と憩い、交流・活動できる三ツ沢公園を、これからも多様な人や世代に愛される公園として維持・充実していくこと。

③ 公園の新たな魅力の創出・機能の向上

- ・近年の様々な社会変化やニーズの多様化などを踏まえ、優れたノウハウやアイデアを持った民間事業者による新たな魅力の創出やサービスの向上、資金の活用など、公民連携の取組を推進していくこと。
- ・近年頻発する大きな災害に備え、防災・減災・避難時の機能の向上等を図っていくこと。

(2) 再整備の目的

A スポーツのできる公園の充実



オリンピックを開催してきた歴史や魅力をレガシーとして継承し、近年一層高まる球技場利用の需要にも対応するとともに、新たな時代に求められる質の高いスポーツ施設のある公園を目指します。

C 花と緑の充実による公園の魅力向上



公園内の多様な利用や賑わいが生まれ、市民がまた訪れたいと思える花と緑にあふれた公園を目指します。

B 健康増進・地域の魅力づくり



誰もがスポーツを楽しみ、健康づくりに取り組める機会や環境の充実を図り、地域の魅力を高めていきます。

D 災害時における防災機能の充実



広域避難場所や広域応援活動拠点等としての防災機能の充実を図ります。

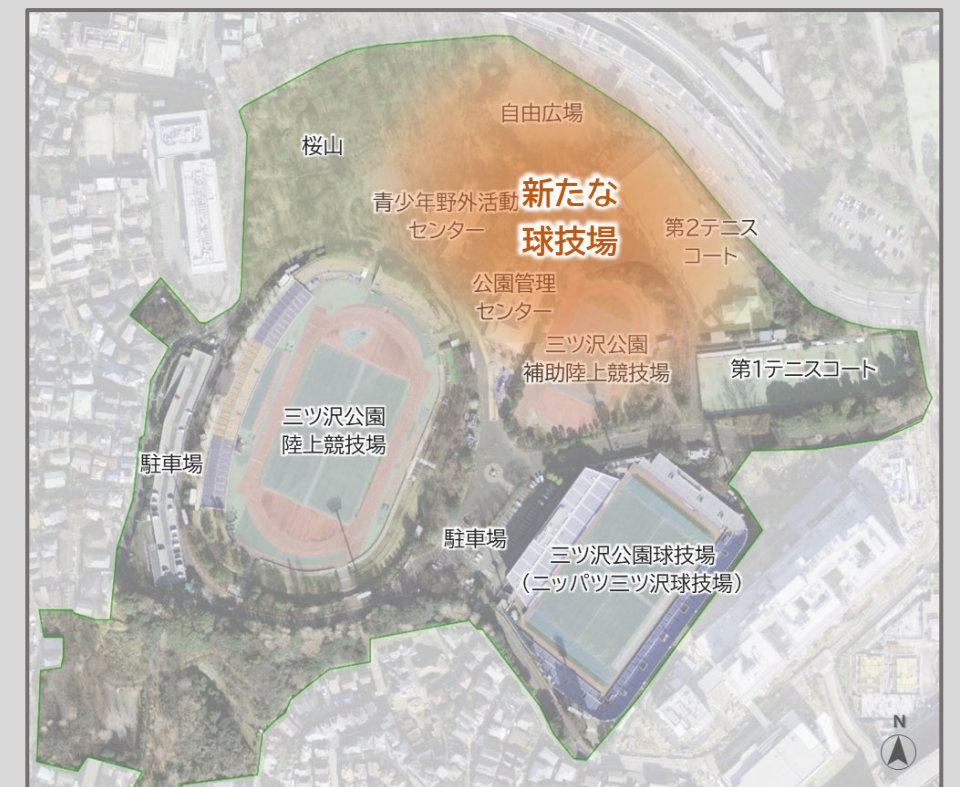
(3) 取組の方向性

- ① 市民利用枠の確保を図るため、既存の球技場も活かしながら新たな球技場の建設について検討を進めます。
- ② 老朽化した他の公園施設のリニューアルについても検討を行いながら、三ツ沢公園の再整備を進めていきます。

(4) 主な検討課題

- ① 厳しい財政状況の中、効率的・効果的な球技場の整備や運営、市民サービスの充実に向けて公民連携の取組を最大限に推進
- ② 球技場建設に伴い、影響を受ける施設の代替機能の確保
- ③ 桜の名所や緑豊かな環境の次世代への継承
- ④ スポーツイベント開催時の交通誘導等、周辺地域に対する影響への対応

■配置イメージ



4 今後の進め方(市民意見募集の実施)

- ・三ツ沢公園の再整備に向けた基本的な考え方(案)について、地域の方々や公園利用者、スポーツ関係団体など、市民の皆様のご意見をお聞きしながら検討を進めるとともに、夏頃を目途に市民意見募集を行います。
- ・各課題について検討の深度化を図っていきます。